

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-1-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	①	母子の健やかな心と身体の育成支援

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) \* 計画にない新規H22(2)・H23(2)

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
妊婦・周産期の母子保健事業の推進	○母子健康手帳の交付	こども福祉 子育て支援	H22～26	妊娠届 617 (11週以内の届け出 548 88.8%) 転入51 母子手帳582(双胎・再交付)	妊娠届 585 (11週以内の届け出 537 91.7%) 転入54 母子手帳575(双胎・再交付)
	○妊婦健康診査費助成事業	こども福祉 子育て支援		基本健診14回分、諸検査の費用を助成 助成総額:43,336,854円	基本健診14回分、諸検査の費用を助成 助成総額:43,362,880円
	○妊婦歯科健康診査費助成事業	こども福祉 子育て支援		142件 助成総額 579,360円 (21.1%)	221件 助成総額 769,080円 (37.6%)
	○不妊治療費助成事業 (健康保険適用分、特定不妊治療) (再掲2-(1)-⑦)	こども福祉 子育て支援		不妊治療保険適応分(市助成分) のべ185人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ72人	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ186人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ46人
	○パパママセミナー (再掲1-(1)-③、1-(2)-①、1-(3)-③)	こども福祉 子育て支援		実人数 妊婦70人 夫 38人 のべ人数:妊婦140人 夫 48人 妊娠届数617人(初産妊婦 274人) 参加率:11.3%(45.3%)	実人数 妊婦89人 夫 49人 のべ人数:妊婦155人 夫 57人 妊娠届数585(初産妊婦 265) 参加率:26.5%(50.9%)
	○産後ホームヘルパー派遣事業	こども福祉 子育て支援		実人数 8人 のべ派遣時間 174時間	実人数 7人 のべ派遣時間 125.5時間
乳幼児期の健康診査事業の推進	○3か月児健康診査 (再掲2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22～26	年24回 対象児:591人 受診者:583人 受診率:98.6%	年24回 対象児:584人 受診者:576人 受診率:98.6%
	○1歳6か月児健康診査 (再掲2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		年12回 対象児:679人 受診者:632人 受診率:93.1%	年12回 対象児:589人 受診者:557人 受診率:94.6%
	○3歳6か月児健康診査 (再掲2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		年12回 対象児:692人 受診者:614人 受診率:88.7%	年12回 対象児:687人 受診者:618人 受診率:90.0%
乳幼児期の相談事業の推進	○10か月児発達相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22～26	年12回 対象児:634人 受診者:582人 受診率:91.8%	年12回 対象児:619人 受診者:552人 受診率:89.2%
	○2歳児発達相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		年12回 対象児:647人 受診者:564人 受診率:87.2%	年12回 対象児:609人 受診者:521人 受診率:85.6%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		年12回 乳幼児 1,201人 妊婦0人	年12回 乳幼児 879人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(2)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		実127人(のべ148人)幼稚園3園 保育所1園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実104人(のべ129人)幼稚園3園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業 公立3保育所84人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		転入者359人中 281人回収(78.3%)	転入者341人中 299人回収(87.7%)

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

乳幼児期の訪問指導の推進	○妊産婦訪問	子ども福祉 子育て支援	H22～26	妊婦9人(のべ12人) 産婦506人(のべ526人)	妊婦6人(のべ7人) 産婦474人(のべ484人)
	○こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業) (再掲2-(3)-③)	子ども福祉 子育て支援		対象児:590人 受診者:528人(里帰り含む) 受診率:89.5%	対象児:580人 受診者:538人(里帰り含む) 受診率:92.8%
	○養育支援訪問事業 (再掲2-(3)-③)	子ども福祉 子育て支援		86件(実訪問件数)	63件(全数訪問)
	○乳幼児訪問	子ども福祉 子育て支援		乳児501人(のべ522人) 幼児35人(のべ74人) 新生児 1人 (のべ2人) 未熟児5人(のべ5人)	乳児475人(のべ482人) 幼児57人(のべ77人) 新生児 6人
	○障がいのある児童の訪問 (再掲2-(2)-②)	子ども福祉 子育て支援		49件(のべ63回)	31件(のべ43回)
* 感染症予防対策の充実	○予防接種事業 *H22新規 ヒブ・肺炎球菌	子ども福祉 子育て支援	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法に基づいた各種予防接種事業を実施した。</li> <li>ポリオ延べ接種回数275回、不活化ポリオ延べ接種回数2,612回(ポリオについてはワクチンが変更になり接種回数が増えたため接種率はでない)・四種混合延べ接種回数370回・三種混合延べ接種回数2,217回(9月から不活化ポリオ、11月から四種混合に移行したため、接種率は出ない)・二種混合69.5%・日本脳炎接種率 116.9%・MR(麻しん・風しん混合) 1期 102.3%、2期 91.0%、3期 90.5%、4期 71.4%・BCG接種率 97.1%</li> <li>・ヒブ・小児肺炎球菌予防接種に対する費用全額助成</li> <li>2か月以上5歳未満児を対象に、それぞれ1回から4回の接種費用を全額助成 ヒブ<sup>®</sup> のべ2,360回 小児肺炎球菌 のべ2,478回</li> <li>・平成25年度の定期接種の準備を実施した</li> </ul>	ポリオ79.3%MR I期99.3% MR II期94.5%MR III期93.8% MR IV期79.0% 三種混合 102.8% 二種混合 73.1% 日本脳炎 120.9%BCG97.1% ヒブ・小児肺炎球菌予防接種に対する費用全額助成 2か月以上5歳未満児を対象に、それぞれ1回から4回の接種費用を全額助成 ヒブ <sup>®</sup> のべ2,016回 小児肺炎球菌 のべ2,384回
	○感染症に係る危機管理	安心まちづくり室		危機管理体制を備えているが、大規模災害と同様の新型インフルエンザなどの感染症が地域的に流行していないため会議等は実施していない。	危機管理体制を備えているが、大規模災害と同様の新型インフルエンザなどの感染症が地域的に流行していないため会議等は実施していない。
	○感染症に係る情報提供	健康推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HIV検査週間、エイズ月間に啓発ポスターを庁舎及び電子掲示板に掲示、また広報・ホームページにも掲載。また、パンフレットを成人式で配付。</li> <li>・ハンセン病に係るリーフレットを窓口を設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HIV検査週間、エイズ月間に啓発ポスターを庁舎に掲示及びホームページに掲載。また、パンフレットを成人式で配付。</li> <li>・ハンセン病に係るリーフレットを窓口を設置。</li> </ul>
	○感染症予防事業 (肝炎ウイルス予防検診、結核住民検診)	健康推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の情報を各戸配布・市のホームページ・広報に掲載した。精密検査対象者には、受診勧奨を行い、経過を記録した。</li> <li>・肝炎ウイルス検診については40歳・45歳・50歳・55歳・60歳に受診票を送付し受診機会の提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の情報を各戸配布・市のホームページ・広報に掲載した。精密検査対象者には、受診勧奨を行い、経過を記録した。</li> <li>・肝炎ウイルス検診については40歳・45歳・50歳・55歳・60歳に受診票を送付し受診機会の提供を行った。</li> </ul>
★1 京田辺市健康増進計画の策定及び実施(★)	○京田辺市健康増進計画の策定及び実施(★)	健康推進	H22～26	京田辺市健康増進計画・食育推進計画に係る重点プロジェクト毎に行動計画を立て、既存事業に加え、新規事業を実施した。 ○栄養・食生活 食生活改善推進員養成講座 受講者75名 広報掲載「いきいきレシピ」2か月に1回(6回) 調理実習講師派遣(小学校3校) ○こころ ホームページ掲載 1回 ○たばこ 禁煙教室 1回 参加者25名 協議会2回開催 ワーキング部会2回開催	平成23年度健康増進計画・食育推進計画書発刊 健康増進計画・食育推進計画策定に係る「健康に関する市民意識調査」結果報告(市議会)およびホームページの掲載(パブリックコメントを実施) 協議会4回開催 ワーキング部会5回開催

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

絵本にふれる機会の充実	○おはなし会 (おはなしや絵本の読み聞かせ等の体験を通じて本に親しむ) (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	中央図書館 66回 1,188人 北部分室 58回 650人 中部分室 26回 254人	中央図書館 63回 1,108人 北部分室 59回 630人 中部分室 27回 380人
	○ふれあい絵本スタート事業	こども福祉 子育て支援		こんにちは赤ちゃん事業にて、絵本の配布 528冊	こんにちは赤ちゃん事業にて、絵本の配布 534冊
リフレッシュのための事業促進	○一時保育事業 (再掲1-(3)-①、1-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22～26	キャンセル待ちは生じたが年間2,381人が利用した。	キャンセルまちは生じたが年間2,324人が利用した。
	○ファミリー・サポート・センター事業 (再掲1-(3)-①)	こども福祉 子育て支援		【活動件数】 2,651件 【会員数】 依頼(おねがい)会員 297人、提供(まかせて)会員 103人、両方(どっちも)会員28人。合計428人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成	【活動件数】 2,561件 【会員数】 依頼(おねがい)会員 269人、提供(まかせて)会員 99人、両方(どっちも)会員27人。合計395人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成
健康情報システムの充実	○「健康手帳」の配布	こども福祉 子育て支援	H22～26	889冊	851冊
	○母子健康管理システム	こども福祉 子育て支援		健康管理システムの新ソフト導入	母子健康管理システム定期保守
★1 子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆)	○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆) (再掲1-(2)-②、3-(2)-③)	こども福祉 子育て支援	H22～26	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。582人 1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布。632人	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。619人 1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布。589人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」49名参加
	○市民への応急手当の普及 (再掲1-(2)-②)	消防署		<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習会 68回 1,303名</li> <li>・上級救命講習会 6回 67名</li> <li>・救急指導 23回 925名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習会 92回 1,401名</li> <li>・上級救命講習会 5回 37名</li> <li>・救急指導 34回 1,412名</li> </ul>

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-1-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	②	保育所、幼稚園、小・中学校における健やかな身体の育成支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
保育所における児童の健康づくり	○保育所における健康診査等の実施 ・内科・歯科健康診査 ・尿・ぎょう虫検査 ・視力測定	子ども福祉 子育て支援	H22～26	内科・歯科健康診査を、各所とも年間2回開催した 尿・ぎょう虫検査、各所とも年間1回開催した 視力測定は、河原・草内・三山木各保育所で年間2回開催した	内科・歯科健康診査を、各所とも年間2回開催した 尿・ぎょう虫検査、各所とも年間1回開催した 視力測定は、河原・草内・三山木各保育所で年間2回開催した
	○食中毒等の予防(職員の検便)	子ども福祉 子育て支援		全保育士に対して年12回の検便を行った	全保育士に対して年12回の検便を行った
	○歯みがき教室等の保健指導 ・歯科衛生士による歯みがき教室 ・保育所職員に対する保健研修	子ども福祉 子育て支援		歯科衛生士による歯みがき教室は、4園で4回開催した 手洗い教室を全7保育所(園)で実施した。 保育所職員に対する保健研修、4園で4回開催した	歯科衛生士による歯みがき教室は、4園で4回開催した 手洗い教室を全7保育所(園)で実施した。 保育所職員に対する保健研修、4園で4回開催した
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	○児童の健康教育実施等に係る相談・支援等 (再掲1-(1)-④)	学校教育	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
	○「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習) (再掲1-(1)-④)	健康推進 学校環境整備		・小学校での活動5回(130人) うち未来君 三山木小学校 6年 59人(2クラス)	・小学校での活動6回(149人) うち未来君 三山木小学校 6年 53人(2クラス)
	○小・中学校健康管理事業(定期健康診断の実施) (再掲1-(1)-④)	学校環境整備		定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。
	○健康教育 ・エイズに関する指導を含む性教育 ・喫煙・薬物乱用の防止等、健康に関する課題への対応 (再掲1-(1)-④)	学校教育		エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
幼稚園における児童の健康づくり	○市立幼稚園健康管理事業 ・定期健康診断の実施 ・歯みがき指導	学校環境整備	H22～26	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯みがき指導を各園で実施。
	○私立幼稚園健康診断事業への補助(市内私立幼稚園への補助)	学校教育		市内2園の私立幼稚園に対して、内科検診及び歯科検診を実施した補助として1名1種につき1,000円の補助を行った。	市内2園の私立幼稚園に対して、内科検診及び歯科検診を実施した補助として1名1種につき1,000円の補助を行った。

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-1-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	③	食育の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績	
母子保健事業における食育事業	○パパママセミナー(栄養・調理編) (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、1-(3)-③)	こども福祉 子育て支援	H22～26	栄養調理編のみ実人数 妊婦26人 夫3人	実人数 妊婦89人 夫 49人 のべ人数:妊婦155人 夫 57人 妊娠届数585(初産妊婦 265) 参加率:26.5%(50.9%)	
	○離乳食教室(前期・後期)	こども福祉 子育て支援		年24回 前期 583人	年24回 前期 576人 年12回 後期552人	
	○幼児食の指導相談	こども福祉 子育て支援		年12回 1歳6ヶ月健診で632人	年12回 1歳6ヶ月健診で589人	
☆2 児童館における食育事業(☆)	○伝統食等の調理実習(☆)	こども福祉 子育て支援	H22～26	「おたのしみ寿司をつくってみよう」(5月19日開催:大住児童館)小学生19名 高齢者2名 「夏休み手作りおやつ」(8月1日開催:大住児童館)小学生20名 「冬の手作りおやつ」(2月2日開催:大住児童館)小学生20名 「春休み手作りおやつ」(3月26日開催:大住児童館)小学生18名 「こども料理教室」(・2月2日開催:南山こどもセンター)	「みたらしだんごをつくろう」(5月21日開催) 小学生13名参加	
☆3 保育所、幼稚園、学校における食育事業(☆)	○保育所給食等における食育の指導(☆)	こども福祉 子育て支援	H22～26	各所とも行事食の実施、展示食の実施を行った 各所の給食において、地産地消の拡大を行った 給食だよりを年間12回発行	各所とも行事食の実施、展示食の実施を行った 各所の給食において、地産地消の拡大を行った 給食だよりを年間12回発行	
	○幼稚園、学校等における食育の指導	学校環境整備		学校教育	・小学校全校に栄養教諭又は管理栄養士が配置されたことで、一層各校の食育を進めることが出来た。 ・給食において、行事食の実施、地産地消の推進を行った。 ・市立小学校で「しよくいくだより」「こんだてだより」を発行し、食育の指導に努めた。(しよくいくだより:年11回発行、こんだてだより:年9回発行) ・食に関する指導計画に基づく教科書横断的な指導を実施した。	市立小学校9校でしよくいくだより、こんだてだよりを年9回発行し食育の指導に努めた。
		学校教育			食に関する指導計画に基づく教科書横断的な指導を実施した。	
	○食農体験	農政		普賢寺地域における収穫イベントを実施した。市内小学校でお茶の淹れ方教室を実施した。	普賢寺地域における収穫イベントを実施した。	
○学校給食等における地元産野菜の導入	農政	学校給食における地産地消として、京田辺産の米、たけのこ、シロナ、大根、海老芋、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なす、天王の味噌に加え、平成23年度からは一休寺納豆の使用を復活。特産物の使用を推進。	学校給食における地産地消として、京田辺産の米、たけのこ、シロナ、白菜、大根、海老芋、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なす、天王の味噌に加え、平成23年度は一休寺納豆の使用を復活。特産物の使用を推進。			

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

★2 健康づくり事業における食育事業(★)	○食育推進計画の策定及び実施(★)	健康推進	H22～26	京田辺市健康増進計画・食育推進計画に係る重点プロジェクト毎に行動計画を立て、既存事業に加え、新規事業を実施した。 ○栄養・食生活 食生活改善推進員養成講座 受講者75名 広報掲載「いきいきレシピ」2か月間に1回(6回) 調理実習講師派遣(小学校3校)	平成23年度健康増進計画・食育推進計画書発刊 健康増進計画・食育推進計画策定に係る「健康に関する市民意識調査」結果報告(市議会)およびホームページの掲載(パブリックコメントを実施) 協議会4回開催 ワーキング部会5回開催	
	○疾病予防及び健康増進のための食育事業 ・プランニング・ユア・ライフ	健康推進		協議会2回開催 ワーキング部会2回開催	教室回数:6回 参加実人数:113人	教室回数:6回 参加実人数:112人
	○食生活改善推進員による食生活改善普及活動	健康推進		普及活動95回(延べ4,770人)	普及活動67回(延べ3,537人)	
地域における食育事業	○地域における食育事業 ・公民館等における調理実習	社会教育・スポーツ推進	H22～26	料理教室(中央公民館事業)全5回 延べ76人 手作りパン教室(北部住民センター事業)全5回 延べ116人 ケーキづくり教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ150人 洋食ランチ料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 延べ84人 和風スイーツ教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ142人 おもてなしグローバル料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 延べ84人	料理教室(中央公民館事業)全5回 延べ84人 手作りパン教室(北部住民センター事業)全5回 延べ111人 ケーキづくり教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ149人 洋食ランチ料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 延べ86人 和風スイーツ教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ137人 アイデアパーティ料理教室(中部住民センター事業)全3回 延べ45人	

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-1-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	④	思春期からの健康づくり支援

\*

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
思春期～青年期の健康づくりの支援	○性に関する啓発事業(エイズパンフレット配布)	健康推進	H22～26	エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付及びホームページ掲載 同志社大学において啓発事業実施	エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付及びホームページ掲載
	○思春期保健学習会(保育所、幼稚園、小・中学校及び母子保健担当係とのネットワーク構築)	こども福祉 子育て支援		未実施(人権教育保健部会がその役割を果たしている)	未実施(人権教育保健部会がその役割を果たしている)
	○子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業 *H22新規	健康推進		中1～高1の女子を対象に、1人あたり3回接種の費用全額助成のべ951回 平成25年度の定期接種の準備を実施した	中1～高1の女子を対象に、1人あたり3回接種の費用全額助成のべ3,192回
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	○児童の健康教育実施等に係る相談・支援等(再掲1-(1)-②)	学校教育	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
	○「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習)(再掲1-(1)-②)	健康推進 学校環境整備		・小学校での活動5回(130人) うち未来君 三山木小学校 6年 59人(2クラス)	・小学校での活動6回(149人) うち未来君 三山木小学校 6年 53人(2クラス)
	○小・中学校健康管理事業(定期健康診断の実施)(再掲1-(1)-②)	学校環境整備		定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。
	○健康教育(再掲1-(1)-②)	学校教育		エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
子育てセミナー	○子育てセミナー(再掲1-(2)-①、1-(3)-③、2-(1)-①、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月14日参加者26人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者545人	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月9日参加者66人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者544人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-1-5)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野	⑤	医療体制等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
☆4 子育て支援医療費の助成(☆)	○子どもの医療費の助成(☆) (再掲2-(1)-⑦)	こども福祉 子育て支援	H22~26	平成24年4月診療分から入院外を小学6年生まで対象年齢を拡大。 入院:788件 34,206千円 入院外:120,596件 208,735千円	入院:654件 28,633千円 入院外:97,244件 144,556千円
小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	○小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	こども福祉 子育て支援	H22~26	0件	1件
医療体制の整備・充実のための働きかけ	○小児救急電話相談「#8000」	こども福祉 子育て支援	H22~26	子育てマップ等による市民への周知 HP・広報誌に掲載	子育てマップ等による市民への周知 広報誌に掲載
	○小児救急医療体制	こども福祉 子育て支援		子育てマップ等による市民への周知 HP・広報誌に掲載	子育てマップ等による市民への周知 広報誌に掲載
	○休日応急診療所事業(京田辺市・八幡市)	健康推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>年間70日開設、受診者数802人(1日平均11.46人)</li> <li>病院群輪番制の利用無し、八幡市休日応急診療所の利用14人。</li> <li>府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(管内では宇治徳州会病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。</li> <li>府の京都健康医療よろづネットの活用をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間69日開設、受診者数877人(1日平均12.71人)</li> <li>病院群輪番制の利用無し、八幡市休日応急診療所の利用9人。</li> <li>府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(管内では宇治徳州会病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。</li> <li>府の京都健康医療よろづネットの活用をした。</li> </ul>
関係機関との連携強化	○関係機関との連携強化 (京都府保健医療計画における医療体制等の充実要請等)	健康推進	H22~26	見直し後の平成20年度から京都府保健医療計画が実施され、地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および主な死因に着目した切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画における市町村の役割について協力するとともに、計画の充実について要望した。	見直し後の平成20年度から京都府保健医療計画が実施され、地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および主な死因に着目した切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画における市町村の役割について協力するとともに、計画の充実について要望した。
自立支援医療給付事業の推進	○自立支援医療給付事業の推進 (再掲2-(2)-②)	障害福祉	H22~26	自立支援医療(精神通院)受給者 40名	自立支援医療(精神通院)受給者 45名
母子家庭医療費助成事業	○母子家庭医療費助成事業 (再掲2-(2)-③)	国保医療	H22~26	平成24年度給付実績 12,839件 35,551千円	平成23年度給付実績 12,622件 35,045千円



# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-2-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野	①	子育てに関する意識啓発の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
男女共同参画に係る啓発	○各種広報、啓発、イベント、研修等の充実 (ふれあい夢フェスタなど) (再掲1-(3)-③)	市民参画	H22～26	・ふれあい夢フェスタ 参加者約350人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔さん「東日本大震災と男女の生き方」参加者約130人 ②子育て講座 講師:NPO法人S-space副理事長 金坂尚人さん「パパと子の体遊び」参加者14人③パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座(ちよいヤル編)」①はじめてのフレンチ 参加者8人 ②めざせ!整理・収納の達人 参加者6人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラリ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成25年3月31日現在推進員38人 研修会1回、情報提供6回)	・ふれあい夢フェスタ 参加者約300人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:(株)東レ経営研究所特別顧問 佐々木常夫さん「仕事も家族もあきらめない」参加者約250人②パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座(ちよいヤル編)」①はじめてのフレンチ 参加者25人 ②めざせ!整理・収納の達人 参加者22人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラリ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成24年3月31日現在推進員30人 研修会1回、情報提供6回)
	○学習機会の充実 (女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの関連図書等の貸出しなど) (再掲1-(3)-③)	市民参画		・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書貸出人数延べ108人	・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書貸出人数延べ66人
地域子育て井戸端会議	○市立幼稚園における地域子育て井戸端会議	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市内8幼稚園2公民館1小学校 14事業 参加総数707人	市内8幼稚園 合計11事業 参加総数615人
広報広聴の充実	○子育てセミナーや研修会の市民への広報の充実 (学びの情報誌、チラシ等の活用と内容充実)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	学びの情報誌やチラシ等の活用により事業のPR活動を行った。	学びの情報誌やチラシ等の活用により事業のPR活動を行った。
子育ての学習機会の充実	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(3)-③、2-(1)-①、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月14日参加者26人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者545人	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月9日参加者66人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者544人
	○パパママセミナー (再掲1-(1)-①、1-(1)-③、1-(3)-③)	こども福祉 子育て支援		実人数 妊婦70人 夫 38人 のべ人数:妊婦140人 夫 48人 妊娠届数617人(初産妊婦 274人) 参加率:11.3%(45.3%)	実人数 妊婦89人 夫 49人 のべ人数:妊婦155人 夫 57人 妊娠届数585(初産妊婦 265) 参加率:26.5%(50.9%)
	○絵本の紹介(発達相談に合わせて実施)	こども福祉 子育て支援		未実施	未実施

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

	将来における少子化や子育てに係る関心の喚起	○啓発活動の実施 ・広報紙への記事掲載 ・パンフレットの配布	こども福祉 子育て支援	H22～26	てふてふたまり1回/2か月・センター たまり 1回/月 (センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)	てふてふたまり1回/2か月・センター たまり 1回/月 (センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)
		○「保育のつどい」の実施	こども福祉 子育て支援		第22回保育のつどいを10月27日に開催 参加者は2,000人	第21回保育のつどいを10月22日に開催 参加者は2,000人
☆5	児童虐待防止に係る啓発(☆)	○ホームページの充実 (再掲1-(2)-②、2-(3)-④)	こども福祉 子育て支援	H22～26	子どもの権利条約について掲載	「STOP!子ども虐待」リーフレットを掲載。児童虐待防止月間の取り組みを掲載
		○パンフレットの配付(☆) ・市民 ・子育て関係者 (再掲1-(2)-②、2-(3)-④)	こども福祉 子育て支援		「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・アルプラザ・産業祭・歯のひろば・市民講演会・民生児童委員活動にて配布 3,865枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面)13,000枚 子どもSOSカード 小学校入り口に設置 180枚、小学3年生に配布 691枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭等にて配布 2900枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 子どもSOSカード 小学3年生に配布 709枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時
☆6	地域子育て支援拠点事業の推進(☆)	○地域子育て支援センター事業	こども福祉 子育て支援	H22～26	河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放3,140人 親子あそび1,708人 すくすくサロン314人 サークル活動のサポート出前保育631名	河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放2863人 親子あそび824人 すくすくサロン294人 サークル活動のサポート出前保育895名
		○子育てひろば事業(☆)	こども福祉 子育て支援		子育てひろばてふてふ 利用者 9,658人(4～3月分)	子育てひろばてふてふ 利用者 9,675人(4～3月分)

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

相談事業の充実	○保育所における相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22～26	年間842人から相談を受けた	年間1,101人から相談を受けた	
	○児童館における相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(1)-③、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		保護者からの相談件数 250件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	保護者からの相談件数 164件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	
	○地域子育て支援センター等での子育て 相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		支援センターでの子育て相談 電話49 来所2 事業実施時111	支援センターでの子育て相談 電話66 来所30 事業実施時224	
	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(1)-③、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 100件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 81件 保健・障がい・非行・育成等相談 16件 来庁面接相談回数:157回(延べ223人) 家庭訪問回数:100回(延べ135人) 電話相談回数:89回(延べ159人) メール相談回数:0件	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 108件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 55件 保健・障がい・非行・育成等相談 27件 来庁面接相談回数:78回(37世帯) 家庭訪問回数:94回(27世帯) 電話相談回数:7回(7世帯) メール相談回数:1回(1世帯)	
相談事業の充実	○10か月児発達相談 (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22～26	年12回 対象児:634人 受診者:582人 受診率:91.8%	年12回 対象児:619人 受診者:552人 受診率:89.2%	
	○2歳児発達相談 (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		年12回 対象児:647人 受診者:564人 受診率:87.2%	年12回 対象児:609人 受診者:521人 受診率:85.6%	
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		年12回 乳幼児 1,201人 妊婦0人	年12回 乳幼児 879人 妊婦0人	
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(2)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		実127人(のべ148人)幼稚園3園 保育所1園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実104人(のべ129人)幼稚園3園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業 公立3保育所84人実施	
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		転入者359人中 281人回収(78.3%)	転入者341人中 299人回収(87.7%)	
	○民生児童委員・主任児童委員による相談	社会福祉		H22～26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
	○幼稚園での子育て相談事業 (再掲2-(1)-②、2-(3)-②)	学校教育		H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	○小・中学校での教育相談 (再掲2-(1)-②、2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育		H22～26	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数381件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ69件、相談人数 延べ519人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-2-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野	②	子育てに関する情報提供の充実

事業名称		事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
☆7	子育てに係る情報提供体制・方法の充実(☆)	○「広報京たなべ」による情報発信の充実(子育て支援に関する情報提供や意識啓発の充実)	関係各課	H22~26	社会福祉:子育てサロン、わいわい広場等の開催を掲載 市民参画課:女性交流支援ルーム協働事業の開催案内掲載	こども福祉:子育て支援事業・相談事業等を掲載 市民参画:女性交流支援ルーム協働事業の開催案内掲載 社会福祉:子育てサロン、わいわい広場等の開催を掲載 消防署:「広報京たなべ」22回「京田辺市生涯学習だより」4回
		○ホームページによる情報発信の充実(☆)	こども福祉 子育て支援		子育て支援事業、相談事業等を掲載	子育て支援事業、相談事業等を掲載
		○地域子育て支援センター・子育てひろばからの情報発信(☆)	こども福祉 子育て支援		てふてふたより1回/2か月・センターたより 1回/月(センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)	てふてふたより1回/2か月・センターたより 1回/月(センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月)
		○子育てガイドブックの発行 ・子育てマップの発行 ・子育て外遊びマップの発行(☆)	こども福祉 子育て支援		子育てマップ2000部印刷 市役所・子育て支援センター・ひろばで配布 あそびばマップは同志社大学のロームプロジェクトにおいて、学生による企画運営で進め、マップのデータが完成。	子育てマップ1000部印刷 市役所・子育て支援センターで配布 子育てあそびばマップは同志社大学のロームプロジェクトに応募し、プロジェクトでの作成運営が決定する
		○外国語母子健康手帳の交付(再掲2-(2)-④)	こども福祉 子育て支援		発行:英語7冊 スペイン語1冊 中国語1冊	発行:英語2冊 スペイン語 1冊
		○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆) (再掲1-(1)-①、3-(2)-③)	こども福祉 子育て支援		10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。582人 1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布。632人	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。619人 1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布。589人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」49名参加
		○児童虐待防止の広報・啓発 ・市民に対する広報・啓発(ホームページの充実) ・児童に係る関係者に対する啓発(子育て関係者にパンフレット等の配布(☆) (再掲1-(2)-①、2-(3)-④)	こども福祉 子育て支援		「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・アルプラザ・産業祭・歯のひろば・市民講演会・民生児童委員活動にて配布 3,865枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面)13,000枚 子どもSOSカード 小学校入り口に設置 180枚、小学3年生に配布 691枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなべシリーズ連載(8・10・11・12月号)	0枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面)13000枚 子どもSOSカード 小学3年生に配布 709枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなべシリーズ連載(10・11・12月号)
○市民への応急手当の普及(再掲1-(1)-①)	消防署	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習会 68回 1,303名</li> <li>・上級救命講習会 6回 67名</li> <li>・救急指導 23回 925名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習会 92回 1,401名</li> <li>・上級救命講習会 5回 37名</li> <li>・救急指導 34回 1,412名</li> </ul>			

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-2-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野	③	次代の親育成の推進

☆  
10

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
育児体験の推進(☆)	○思春期育児体験教室(中学生が乳幼児に触れ合う機会を持つ)	こども福祉 子育て支援	H22～26	てふてふで実施 12月25日中学生6名参加	てふてふで実施 8月22日中学生5名参加
	○保育所における子どもとのふれあい体験事業	こども福祉 子育て支援		各所とも年間96回開催した	各所とも年間96回開催した
	○児童館における子どもとのふれあい体験事業(☆)	こども福祉 子育て支援		(大住児童館) ・児童福祉週間:人形劇 5月 小学生26名・乳幼児親子169名 ・南陽高校 マジック部がやってくる! 8月10日 小学生50名・乳幼児親子31名 ・家族の日 人形劇を家族で観よう! 11月17日 小学生 6名・乳幼児親子87名 (普賢寺児童館) ・人形劇 12月12日 小学生50名・幼稚園児48名・乳幼児親子36名	(大住児童館) ・人形劇5月28日 乳幼児親子と小学生111人参加 ・マジック&ジャグリング8月24日 乳幼児親子と小学生64人参加 ・クリスマスミニコンサート・ハンドベル12月22日 乳幼児親子と小学生82人参加 ・アカペラ演奏会2月28日 乳幼児親子と小学生29人参加 ・絵本プロジェクト人形劇3月3日 乳幼児親子と小学生52人参加 (普賢寺児童館) 12月14日クリスマス会人形劇 0.1.2歳児22人幼稚園児40小学生54人参加保護者18人
	○学生ボランティア支援事業	学校教育	同志社女子大学等の学生ボランティアによる保育の支援 5園に15名配置	同志社女子大学等の学生ボランティアによる保育の支援 6園に17名配置	
明日の親となるための子育て理解講座	○中学生を対象とした子育て理解講座	社会教育・スポーツ推進	H22～26	北部住民センター 2月22日 238人参加 培良中学校 5月24日 107人参加 社会福祉センター 3月7日 211人参加	田辺中学校 3月7日 213人参加 大住中学校 2月17日 185人参加 培良中学校 5月10日 115人参加

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-3-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	①	仕事と子育ての両立を図るための支援策の推進

	事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
☆ 11	ファミリー・サポート・センター事業の推進(☆)	○ファミリー・サポート・センター事業の推進(☆) (市民の相互扶助活動の推進) (再掲1-(1)-①)	こども福祉 子育て支援	H22～26	【活動件数】2,651件【会員数】依頼(おねがい)会員 297人、提供(まかせて)会員 103人、両方(どっちも)会員28人。合計428人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成	【活動件数】2,561件【会員数】依頼(おねがい)会員 269人、提供(まかせて)会員 99人、両方(どっちも)会員27人。合計395人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成
	一時保育事業の推進	○一時保育事業 (再掲1-(1)-①、1-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22～26	キャンセル待ちは生じたが年間2,381人が利用した。	キャンセルまちは生じたが年間2,324人が利用した。
☆ 12	病児・病後児保育事業(☆)	○病児・病後児保育事業(☆) (再掲1-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22～26	病後児保育 66人 希望者全員の受け入れができた。 平成25年度開始の病児保育開設に向けて、医療機関と調整をおこなった。	病後児保育 49人 希望者全員の受け入れができた
★3	子育て短期支援事業(★)	○ショートステイ事業(★) (再掲2-(3)-⑤)	こども福祉 子育て支援	H22～26	平成25年4月からの実施に向けて、要綱の制定、委託先(2か所)との調整を行った。	未実施
	留守家庭児童会の充実	○留守家庭児童会 (再掲1-(3)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	ボランティア派遣事業を年81回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。 希望者全員の受け入れが出来た。	ボランティア派遣事業を年86回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。 希望者全員の受け入れが出来た。

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-3-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	②	多様で弾力的な保育サービスの充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
☆ 12 各種保育サービスの充実(☆)	○通常保育事業	こども福祉 子育て支援	H22～26	年間13,020人 待機児童ゼロ(4月1日現在)	年間12,205人 待機児童ゼロ
	○延長保育事業	こども福祉 子育て支援		早朝延長保育は、1日あたり延べ、541人が利用した 夜間延長保育は、1日あたり延べ、694人が利用した 希望者全員の受け入れができた	早朝延長保育は、1日あたり延べ、374人が利用した 夜間延長保育は、1日あたり延べ、361人が利用した 希望者全員の受け入れができた
	○一時保育事業 (再掲1-(1)-①、1-(3)-①)	こども福祉 子育て支援		キャンセル待ちは生じたが年間2,381人が利用した。	キャンセルまちは生じたが年間2,324人が利用した。
	○病児・病後児保育事業(☆) (再掲1-(3)-①)	こども福祉 子育て支援		病後児保育 66人 希望者全員の受け入れができた。 平成25年度開始の病児保育開設に向けて、医療機関と調整を行った。	病後児保育 49人 希望者全員の受け入れができた
	○低年齢児保育(産休明け児童の保育)	こども福祉 子育て支援		年間15人	年間11人
	○民間保育所運営助成	こども福祉 子育て支援		3つの民間保育園に年間55,746,886円の運営補助金を交付	3つの民間保育園に年間53,896,649円の運営補助金を交付
☆ 13 保育所の計画的施設整備(☆)	○公立保育所の整備(河原保育所)	こども福祉 子育て支援	H22～26	三山木保育所に仮設園舎を建設した	なし
	○民間保育所の整備補助(☆)	こども福祉 子育て支援		みみづく保育園新築移転用地造成に着手した。	みみづく保育園新築移転についての検討を行い、提供する市有地造成に係る測量・設計業務に着手した。
☆ 14 放課後児童対策の推進(☆)	○留守家庭児童会 (再掲1-(3)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	ボランティア派遣事業を年81回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。 希望者全員の受け入れが出来た。	ボランティア派遣事業を年86回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。 希望者全員の受け入れが出来た。
	○放課後子どもプラン(☆) (再掲2-(1)-⑥)	社会教育・スポーツ推進		年間実施日数 88日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数4,471人	年間実施日数 85日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,789人
幼稚園における保護者支援	○幼稚園における預り保育 ・市立全園で実施	学校教育	H22～26	8園で延べ912日、5,529人が利用した。 1日平均6.06人	8園で延べ795日、4,271人が利用した。 1日平均5.37人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-3-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	③	男女共同子育ての推進

☆  
15

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進(☆)	○第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進(☆)	市民参画	H22~26	第2次京田辺市男女共同参画計画の事業の推進 計画掲載事業 138事業 うち平成24年度中に実施予定であった事業 135事業(残りの3事業は平成25年度以降に実施) 実施状況 実施 128事業(構成比94.8%) 未実施 7事業(構成比 5.2%)	・第2次京田辺市男女共同参画計画の事業の推進 ・第1次京田辺市男女共同参画計画の成果と課題まとめ
	○各種広報、啓発、イベント、研修等の充実(再掲1-(2)-①)	市民参画		・ふれあい夢フェスタ 参加者約350人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔さん「東日本大震災と男女の生き方」参加者約130人 ②子育て講座 講師:NPO法人S-pace副理事長 金坂尚人さん「パパと子の体遊び」参加者14人③パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座(ちよいヤル編)」①はじめてのフレンチ 参加者8人 ②めざせ!整理・収納の達人 参加者6人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成25年3月31日現在推進員38人 研修会1回、情報提供6回)	・ふれあい夢フェスタ 参加者約300人 ・男女共同参画週間①フォーラム 講師:榎東レ経営研究所特別顧問 佐々木常夫さん「仕事も家族もあきらめない」参加者約250人②パネル展 ・男性の生活能力向上講座「カジダン講座(ちよいヤル編)」①はじめてのフレンチ 参加者25人 ②めざせ!整理・収納の達人 参加者22人 ・男女の活躍事例の収集・発信『個性キラ☆自分流』(4人紹介) ・男女共同参画推進員の募集・支援(平成24年3月31日現在推進員30人 研修会1回、情報提供6回)
	○学習機会の充実(再掲1-(2)-①)	市民参画		・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書貸出人数延べ108人	・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書貸出人数延べ66人
	○市民リーダーの養成(京都府女性の船への参加補助、市民活動の支援)	市民参画		・京都府女性の船参加者なし	・京都府女性の船参加者2人、参加補助金交付2人
	○女性の相談室(一般相談、専門相談、法律相談、女性の再就職・チャレンジ相談)(再掲2-(2)-③、2-(3)-②)	市民参画		・専門相談 毎月第1・3木曜日22回55件相談 ・出張相談 年8回、15件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 87件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 23件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回(8件相談)	・専門相談 毎月第1・3木曜日22回50件相談 ・出張相談 年8回、12件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 125件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 25件相談 ・再就職・チャレンジ相談 1回(2件相談)
	○男性相談(再掲2-(2)-③、2-(3)-②)	市民参画		・男性のための電話相談(6/21、10/19、2/22の3回、午後7時～9時) 相談件数 3件	・男性のための電話相談(6/28、10/25、2/28の3回、午後7時～9時) 相談件数 2件



# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

意識啓発の推進	○子育てセミナー ・父親の家庭教育の参加の集い (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、2-(1)-①、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月14日参加者26人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者545人	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座) 9月9日 参加者66人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者544人
	○パパママセミナー (再掲1-(1)-①、1-(1)-③、1-(2)-①)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	実人数 妊婦70人 夫 38人 のべ人数:妊婦140人 夫 48人 妊娠届数617人(初産妊婦 274人) 参加率:11.3%(45.3%)	実人数 妊婦89人 夫 49人 のべ人数:妊婦155人 夫 57人 妊娠届数585(初産妊婦 265) 参加率:26.5%(50.9%)

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(1-3-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	④	事業所等への啓発等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
事業所への啓発	○事業所への啓発の推進① ・母性保護についての啓発 ・父親の子育て参加等	社会福祉	H22～26	関係機関からの啓発パンフレットを窓口に置き、啓発推進に努めた。	関係機関からの啓発パンフレットを窓口に置き、啓発推進に努めた。
	○事業所への啓発の推進② ・労働時間短縮等のリーフレット等による啓発	産業振興		商工会において、関係機関が発行したパンフレット等を窓口に置いて啓発した。	商工会において、関係機関が発行したパンフレット等を窓口に置いて啓発した。

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	①	保育・教育環境の充実

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) \* 計画にない新規H22(2)・H23(2)

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
意見発表等の 機会の充実	○「子どもの主張大会」の実施及び特集号の発行	学校教育 社会教育・ス ポーツ推進 子ども福祉 子育て支援	H22～26	H23年12月2日(日)田辺中央公民館で実施。 作品応募総数1283名。参加者数約250名	H23年12月4日(日)田辺中央公民館で実施。 作品応募総数1185名。参加者数約300名
★16	○保育内容の充実(保育所)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った
	○家庭支援推進保育事業(☆)	子ども福祉 子育て支援		公立4保育所に 各1名の保育士配置	公立4保育所に 各1名の保育士配置
	○保育所園庭の芝生化	子ども福祉 子育て支援		河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた	河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた
★17 保育・教育内容 や活動施設の 充実(☆)		子ども福祉 子育て支援	H22～26	三山木保育所に仮設園舎を建設した	公立4保育所に、新たにチャイルドシートを購入した
	○保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善(☆)	教育総務 学校環境整備		○保育所 三山木保育所に仮設園舎を建設した ○小学校 耐震補強工事に併せて、桃園小学校及び普賢寺小学校屋内体育館の大規模改修工事を実施した。 三山木小学校増築事業の基本設計及び実施設計を行った。 ○中学校 田辺中学校管理棟新築工事を実施した。 耐震補強工事に併せて、培良中学校屋内体育館の大規模改修工事を実施した。 中学校空調設備設置工事を実施した。 ○幼稚園 田辺幼稚園・松井ヶ丘幼稚園の園庭整備を実施した。	○小学校 耐震補強工事に併せて、松井ヶ丘小学校屋内体育館の大規模改修工事を実施した。 三山木小学校増築に伴い、用地測量業務を実施した。 ○中学校 田辺中学校クラブボックス棟について、改築工事を実施した。 中学校空調設備設置設計業務を実施した。 ○幼稚園 大住幼稚園、薪幼稚園の園庭整備を実施した。 市立幼稚園、小学校、中学校空調設備設置検討業務を実施した。
	○図書館活動の充実 ・図書の充実 ・手作りの本講習会等 ・障がいのある人への対面朗読等 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・ス ポーツ推進		市内22箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 22ステーションには2週間に1回、8学級には年4回巡回	市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年4回巡回
	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、3-(1)-①)	社会教育・ス ポーツ推進		家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月14日参加者26人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者545人	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月9日 参加者66人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者544人
○特色ある園づくり(幼稚園)	学校教育	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キ・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キ・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。		

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特色ある学校づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・市研究指定校制度(学校改善)</li> <li>・社会人講師の活用(地域人材の活用)</li> <li>・総合的な学習の補助(消耗品の補助)(再掲3-(1)-⑤、3-(1)-⑥)</li> </ul> </li> </ul>	学校教育	H22～26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。講師等謝金 小学校593千円、中学校308千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者33人	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。講師等謝金 小学校563千円、中学校427千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者36人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験学習</li> </ul> </li> </ul>	学校教育		各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。
国際化・情報化等の社会の変化に対応する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際理解教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・AETの活用(外国人による英語授業)</li> </ul> </li> </ul>	学校教育	H22～26	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報教育の充実① <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ等の機器の充実</li> </ul> </li> </ul>	学校教育		小・中学校では、コンピュータ室を整備し、合わせて400台を設置している。また、平成22年の国のICT環境整備事業により、89台の大型テレビを幼小中に導入し、平成23年度の市の予算で小・中学校に合わせて57台の大型テレビを導入した。また、平成22、23年度の市の予算で小中学校にデジタル教科書を整備し、大型テレビやコンピュータ等のICT教材を活用した授業を行い、平成24年度は小・中学校全普通教室に配備できるよう大型テレビを追加導入し、児童生徒の学力向上に寄与している。さらに、校務用パソコンを教職員に100%貸与して、校務の情報化を進め、円滑に事務処理を行っている。	小・中学校では、コンピュータ室を整備し、合わせて400台を設置している。また、平成22年の国のICT環境整備事業により、89台の大型テレビを幼小中に導入し、平成23年度の市の予算で小・中学校に合わせて57台の大型テレビを導入した。また、平成22、23年度の市の予算で小中学校にデジタル教科書を整備し、大型テレビやコンピュータ等のICT教材を活用した授業を行い、児童生徒の学力向上に寄与している。さらに、校務用パソコンを教職員に100%貸与して、校務の情報化を進め、円滑に事務処理を行っている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報教育の充実② <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルやマナーの育成</li> <li>・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成</li> </ul> </li> </ul>	学校教育		情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。	情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	②	子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (区域担当委員、主任児童委員への活動費の助成)	社会福祉	H22～26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
	○民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	社会福祉		地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
児童福祉施設等における相談の実施	○保育所における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	年間842人から相談を受けた	年間1,101人から相談を受けた
	○児童館における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	子ども福祉 子育て支援		保護者からの相談件数 250件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	保護者からの相談件数 164件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
	○家庭児童相談室での相談事業(来庁、電話、メール) (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	子ども福祉 子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 100件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 81件 保健・障がい・非行・育成等相談 16件 来庁面接相談回数:157回(延べ223人) 家庭訪問回数:100回(延べ135人) 電話相談回数:89回(延べ159人) メール相談回数:0件	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 108件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 55件 保健・障がい・非行・育成等相談 27件 来庁面接相談回数:78回(37世帯) 家庭訪問回数:94回(27世帯) 電話相談回数:7回(7世帯) メール相談回数:1回(1世帯)
	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	子ども福祉 子育て支援		支援センターでの子育て相談 電話49 来所2 事業実施時111	支援センターでの子育て相談 電話66 来所30 事業実施時224
	○相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たっての関係部署等との連携強化等	子ども福祉 子育て支援		相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、留守家庭児童会指導員、ファミリーサポートセンター、民生児童委員の研修会への参加。 要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。	相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、留守家庭児童会指導員、ファミリーサポートセンター、民生児童委員の研修会への参加。 要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。
	○10か月児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子ども福祉 子育て支援		年12回 対象児:634人 受診者:582人 受診率:91.8%	年12回 対象児:619人 受診者:552人 受診率:89.2%
	○2歳児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	子ども福祉 子育て支援		年12回 対象児:647人 受診者:564人 受診率:87.2%	年12回 対象児:609人 受診者:521人 受診率:85.6%

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		年12回 乳幼児 1,201人 妊婦0人	年12回 乳幼児 879人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(2)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		実127人(のべ148人) 幼稚園3園 保育所1園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実104人(のべ129人) 幼稚園3園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業 公立3保育所84人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		転入者359人中 281人回収(78.3%)	転入者341人中 299人回収(87.7%)
学校等における 相談体制の 充実	○幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	学校教育		在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を 開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開 設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育	H22~26	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数381件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ69件、相談人数 延べ519人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	③	不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
子どもへの相談支援(カウンセラー等専門家の支援)(☆)	○児童館における相談事業 (指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け) (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援	H22~26	保護者からの相談件数 250件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 164件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉 子育て支援		ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 100件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 81件 保健・障がい・非行・育成等相談 16件 来庁面接相談回数:157回(延べ223人) 家庭訪問回数:100回(延べ135人) 電話相談回数:89回(延べ159人) メール相談回数:0件	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 108件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 55件 保健・障がい・非行・育成等相談 27件 来庁面接相談回数:78回(37世帯) 家庭訪問回数:94回(27世帯) 電話相談回数:7回(7世帯) メール相談回数:1回(1世帯)
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数381件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ69件、相談人数 延べ519人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆) 臨床心理士等専門家による学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化 (再掲2-(3)-②)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数381件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ69件、相談人数 延べ519人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-⑥、2-(3)-②)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数444人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数201日、通室延人数485人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	④	子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
教育活動の充実	○職員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小・中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	こども福祉 子育て支援	H22～26	年間、延べ243人が受研した	年間、延べ224人が受研した
		学校教育		初任者については、年1回の研究授業及び年2回の研修講座を実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の全教員を対象に年4回研修会と年3回公開保育研修を実施し、資質、指導力の向上に努めた。	初任者については、年1回の研究授業及び年2回の研修講座を実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の全教員を対象に年4回研修会と年3回公開保育研修を実施し、資質、指導力の向上に努めた。
	学校教育	○指導体制の充実とそのための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導		小学校1年生に学級運営支援員を配置した(大住小)。	小学校1年生に学級運営支援員を配置した(大住小)。
幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	○児童、保護者、教職員の交流の推進 ・運動会への招待 ・児童の交流	学校教育	H22～26	各小学校で次年度入学予定園児を運動会へ招待し交流を図った。 「もうすぐ1年生」事業に全小学校で取り組み、交流給食や合同の文化鑑賞会、栽培活動等を実施した。	各小学校で次年度入学予定園児を運動会へ招待し交流を図った。 「もうすぐ1年生」事業に全小学校で取り組み、交流給食や合同の文化鑑賞会、栽培活動等を実施した。
小・中学校の連携強化	○小・中学校の連携強化 ・小・中学校合同研修(授業参観、授業の指導方法の研究等)	学校教育	H22～26	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年
社会体育活動に係る情報提供	○広報紙・ホームページ等による情報提供	社会教育・スポーツ推進	H22～26	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、 市教育委員会社会教育・スポーツ推進課HP等で情報提供を行った	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、 市教育委員会社会体育課HP等で情報提供を行った
各種スポーツ教室・大会等の実施	○市民総合体育大会等 ・市民総合体育大会 ・市民マラソン大会等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市民総合体育大会 18種 3400人 市少年交流大会 人 市マラソン大会 430人 市陸上競技大会 586人 水泳記録会 123人 市民駅伝競走大会 39チーム304人 市小学生ハンドボール大会 51チーム447人 市小学生ハンドボール交流大会 78チーム606人	市民総合体育大会 18種 2690人 市少年交流大会 118人 市マラソン大会 341人 市陸上競技大会 724人 水泳記録会 123人 市民駅伝競走大会 40チーム295人 市小学生ハンドボール大会 49チーム446人 市小学生ハンドボール交流大会 73チーム624人
		社会教育・スポーツ推進		○スポーツ教室等 ・少年スポーツ教室 ・各種水泳教室等の開催	幼児水泳教室 270人 小学生水泳教室 337人 障害児水泳教室 30人 親子体操教室 54組108人 少年スポーツ教室(中央教室・ハンドボール) 53人 少年スポーツ教室(ハンドボール) 270人
	社会教育・スポーツ推進	○健康体づくり ・京田辺市生涯スポーツフェスティバル等		市生涯スポーツフェスティバル2012 4,000人 プール無料開放 こどもの日 185人	市生涯スポーツフェスティバル2011 4,000人 プール無料開放 こどもの日 185人



# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

スポーツクラブ等の育成	○スポーツクラブ等の育成 ・京たなべ・同志社スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)の育成	社会教育・スポーツ推進	H22～26	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援
野外活動センターの運営の充実	○野外活動センター運営の充実 ・わくわく体験クラブ等 ・野外活動に親しむ日	社会教育・スポーツ推進	H22～26	野外活動に親しむ日 311人 夕涼みのつどい 91人 野外活動の集い 553人 わくわく体験クラブ 延べ1,896人	野外活動に親しむ日 245人 夕涼みのつどい 104人 野外活動の集い 533人 わくわく体験クラブ 延べ1,643人
地域組織によるスポーツの推進	○地域スポーツ大会開催等 ・地域リーダー研修会 ・スポーツリーダー研修会 ・水泳指導者研修会	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 延べ3,328人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 36人 水泳指導者研修会 31人	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 延べ3,311人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 29人 水泳指導者研修会 31人
運動公園施設の設備の充実等	○運動公園施設の設備の充実等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	田辺公園プールは、屋外流水ポンプの更新を行った。	田辺中央体育館を第1期指定管理者制度導入し、田辺公園プールは、第3期指定管理者制度導入した。
青少年関係団体の育成・支援	○各種団体の育成・支援 ・京田辺市子ども会 ・京田辺市青年団 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会 7月7日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の「生活環境調査」及び地域パトロール、11月3日青少年生活環境ガイド・啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡連絡協議会10月26日親睦スポーツ大会実施	京田辺市青少年問題連絡協議会7月9日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡連絡協議会 10月22日親睦スポーツ大会実施

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑤	創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
自然の中での体験学習の充実	○野外活動のつどい(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	野外活動の集い 553人	野外活動の集い 553人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		野外活動に親しむ日 311人	野外活動に親しむ日 245人
	○土曜わくわく体験教室(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		わくわく体験クラブ 延べ1,896人	わくわく体験クラブ 延べ1,643人
	○夕涼みのつどい(再掲3-(2)-①)	社会教育・スポーツ推進		夕涼みのつどい 91人	夕涼みのつどい 104人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習(小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3~4回の体験活動の機会)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約8800人	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 8,563人
図書館事業の推進	○夏休み子どもフェスティバル(手づくり会、人形劇、映画会等)	社会教育・スポーツ推進	H22~26	中央図書館 ヨーヨーつり 約270人 映画会 82人 北部分室 手作り会 106人 中部分室 人形劇 92人 腹話術 79人	中央図書館 人形劇 約200人 映画会 約100人 ヨーヨーつり 約350人 北部分室 人形劇 79人 手づくり会 82人 ヨーヨーつり 約250人 中部分室 手づくり会 43人 腹話術 55人 英語のおはなし会 54人
	○おはなし会(再掲1-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進		中央図書館 66回 1,188人 北部分室 58回 650人 中部分室 26回 254人	中央図書館 63回 1,108人 北部分室 59回 630人 中部分室 27回 380人
	○図書館活動の充実(再掲2-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進		市内22箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 22ステーションには2週間に1回、8学級には年4回巡回	市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年4回巡回

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

国際交流の推進	○海外都市等との友好交流 (海外の子どもや留学生などとの交流)	市民参画	H22～26	・テュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生18名が三山木小学校訪問 / 秋期:留学生9名が草内小学校訪問 ・ウィラル市との絵画交換、展示 本市の幼稚園(8園)・小学校(8校)・中学校(3校)の合計255名が参加、ウィラル市へ238点の作品を送付。ウィラル市の幼稚園(1園)・小学校(10校)が参加、送付された440点の作品を、京田辺市コミュニティホールで展示。	・テュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:中止 秋期:留学生12名が大住小学校訪問 ・ウィラル市との絵画交換、展示 本市368名、ウィラル市286名の作品を交換。中央公民館、北部・中部住民センターで展示会を開催。
	○多文化交流の機会づくり・情報提供	市民参画		・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業	・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業
	○国際交流体験の支援(ホームステイ受入れや海外での交流体験などを支援する)	市民参画		・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受入れなど) 19件 Bタイプ(海外留学など) 36件	・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受入れなど) 3件 Bタイプ(海外留学など) 24件

## ◎ 展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑥	子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	
児童館事業の推進	○なかよレクラブ(各児童館:小・中・高校生対象)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	延べ利用者数 14,422人	延べ利用者数 12,302人
豊かな人間性を育む教育の推進	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育	H22～26	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数444人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数201日、通室延人数485人
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進 (再掲3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	新規2地域開設。42区・自治会のうち15箇所継続実施。	新規2地域開設。42区・自治会のうち13箇所継続実施。
☆ 14 放課後子どもプランの充実(☆)	○放課後子どもプラン(☆) (再掲1-(3)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	年間実施日数 88日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数4,471人	年間実施日数 85日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,789人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑦	子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
★4 ☆19 各種手当の支給による支援(★)	○高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う (生活保護・ひとり親・市民税非課税世帯)	こども福祉 子育て支援 社会福祉	H22~26	申請者22名  公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。	申請者17名  公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。
	○子ども手当(★)	こども福祉 子育て支援		支給児童 延べ19,898人 支給総額 221,935,000円(24年4月分から児童手当に変更)	支給児童 延べ113,844人 支給総額 1,410,183,000円 児童数 9,180人 受給者数 5,417人
	○児童手当	こども福祉 子育て支援		支給児童 延べ96,235人 支給総額 1,250,160,000円 児童数 9,859人 受給者数 5,857人	子ども手当に制度変更
	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(2)-③)	こども福祉 子育て支援		支給実人員:414名(内 父子28名) 総支給額:194, 871, 430円	支給実人員:415名(内 父子26名) 総支給額:193, 239, 120円
	○母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務) (再掲2-(2)-③)	こども福祉 子育て支援		申請者489名	申請者483名
	○交通遺児奨学金 (府制度:広報、申請書配布) (再掲2-(2)-③)	こども福祉 子育て支援		申請者3名	申請者4名(児童数5名)
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)-③)	こども福祉 子育て支援		支給実人員486名 総支給額13, 129, 800円	支給実人員415名 総支給額13, 497, 800円
	○特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:市は進達事務) (再掲2-(2)-②)	こども福祉 子育て支援		受給者数:113名	受給者数:105名
	○市心身障害児特別手当 (再掲2-(2)-②)	こども福祉 子育て支援		支給実人員:143名 総支給額:4, 154, 400円	支給実人員:131名 総支給額:3, 724, 800円
★4 子育て支援医療費の助成(☆)	○子どもの医療費の助成(☆) (再掲1-(1)-⑤)	こども福祉 子育て支援	H22~26	平成24年4月診療分から入院外を小学6年生まで対象年齢を拡大。 入院:788件 34,206千円 入院外:120,596件 208,735千円	入院:654件 28,633千円 入院外:97,244件 144,556千円
★4 不妊治療費助成	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)	こども福祉 子育て支援	H22~26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ185人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ72人	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ186人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ46人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

保育・教育費用の負担軽減	○保育所保育料の軽減 (生活保護・ひとり親世帯等)	こども福祉 子育て支援	対象80人に保育料の減免	対象95人に保育料の減免
	○幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育	京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者395人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園18園に補助を実施した。実績37,966,600円。 市立幼稚園在園保護者延べ20人に対して660,000円の減免措置を実施した。	京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者399人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園20園に補助を実施した。実績36,698,500円。 市立幼稚園在園保護者延べ17人に対して512,000円の減免措置を実施した。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・就学援助費 ・特別支援教育就学奨励費 (再掲2-(2)-②)	学校教育	H22~26 市立小学校児童581人及び中学校生徒446人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校4,032千円、中学校6,855千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,504千円、中学校1,899千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校684人 40,119千円、中学校368人 21,262千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 603千円、中学校13人 362千円。	市立小学校児童507人及び中学校生徒614人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校3,549千円、中学校9,210千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,655千円、中学校1,999千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校679人 39,361千円、中学校346人 15,979千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校19人 587千円、中学校10人 325千円。
	○留守家庭児童会負担金の減免	社会教育・スポーツ推進	生活保護世帯の負担金を全額免除	生活保護世帯の負担金を全額免除

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	①	子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
人権意識の高揚	○人権問題研修会	人権啓発推進	H22～26	該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	1回実施(他2回は当該テーマ以外で実施)252人参加 「児童虐待の現場から見えてくる社会～よりよい子育て環境をつくるために～」津崎哲郎(花園大学教授)
	○わくわくワークショップ	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	該当のテーマは未実施
	○広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	『人権を考える情報紙』を8月、1月に市内全戸配布。 8月配布分に人権教育に関する記事「子どもたちは、家庭、地域、学校で連れだって育つ」を掲載。
	○ヒューマン映画上映会	人権啓発推進		該当のテーマでは未実施(毎回、様々な人権問題を取り上げるため)	1回実施、88人参加 映画「手のひらの幸せ」 天涯孤独となった兄弟ふたりが、周りの大人達に支えられながら成長していく作品
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	○「児童福祉週間」の実施	子ども福祉子育て支援	H22～26	4月26日～5月25日に週間を設置し、各種事業に述べ1,632人参加	4月28日～5月28日に週間を設置し、各種事業に述べ1,088人参加
	○通常保育での充実(価値観の違いを認める意識の醸成)	子ども福祉子育て支援		障がいのある児童の受け入れ	障がいのある児童の受け入れ
人権教育の充実	○研修会 ・ハートフルフェスタ、幼児、小・中学生の作品展示等 ・人権に係る学習会	社会教育・スポーツ推進	H22～26	人権教育研究会 8月21日 参加者320名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座) 8月10日 参加者53名 京田辺市ハートフルフェスタ 12月1日 参加者200人 人権に係る作品展示 247点 子どもの人権に関する映画鑑賞 3月23日 参加者55名	人権教育研究会 8月23日 参加者300名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座) 8月19日 参加者70名 京田辺市ハートフルフェスタ 12月3日 参加者220人 人権に係る作品展示 314点 子どもの人権に関する映画鑑賞 12月17日 参加者43人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	②	障がい児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
京田辺市障害福祉計画	○各種障がい福祉サービスの給付 ・訪問系サービス ・日中活動系サービス ・居住系サービス ・補装具費支給事業 ・日常生活用具給付事業	障害福祉	H22～26	居宅介護:利用者7名・利用時間 5767.5時間 行動援護:利用者6名・利用時間時間 3217.5時間 短期入所:利用者 18名・利用時間2,324時間 452日 補装具:購入 11件・修理17件 日常生活用具:83件	居宅介護:利用者10名・利用時間 4983.5時間 行動援護:利用者9名・利用時間時間 2758.5時間 短期入所:利用者 18名・利用時間491時間 353日 補装具:購入 16件・修理11件 15件 日常生活用具:61件
	○地域生活支援事業 ・相談支援事業 ・移動支援事業 ・日中一時支援事業	障害福祉		・相談支援事業(利用延べ件数9,168件。うち児童利用延べ件数181件) 移動支援事業:利用者71名・利用時間10,702.5時間 日中一時支援事業:利用者42名(実人数)・利用時間5,077時間	・相談支援事業(利用延べ件数8,390件。うち児童利用延べ件数270件) 移動支援事業:利用者71名・利用時間9,725時間 日中一時支援事業:利用者39名(実人数)・利用時間4,431時間
自立支援医療給付事業の推進	○自立支援医療給付事業の推進(再掲1-(1)-⑤)	障害福祉	H22～26	自立支援医療(精神通院)受給者 40名	自立支援医療(精神通院)受給者 33名
各種手当等の支給による支援	○特別障害者手当	障害福祉	H22～26	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。40人(児童)に支給。	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。36人(児童)に支給。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・特別支援教育就学奨励費(再掲2-(1)-⑦)	学校教育		・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 603千円、中学校13人 362千円。	・特別支援教育就学奨励金 小学校19人 587千円、中学校10人 325千円。
	○特別児童扶養手当(再掲2-(1)-⑦)	子ども福祉 子育て支援		保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。	受給者数:105名
	○市心身障害児童特別手当(再掲2-(1)-⑦)	子ども福祉 子育て支援		京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金額34千円	支給実人員:131名 総支給額:3,724,800円
発達相談指導員による発達相談	○発達相談指導員による発達相談(再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	実127人(のべ148人)幼稚園3園 保育所1園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実104人(のべ129人)幼稚園3園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業を開始 公立3保育所84人実施

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

障がい児保育・教育等の推進	○障がい児保育の実施 (保育所での保育に欠ける障がいのある児童の受入れ)	こども福祉 子育て支援	H22～26	39人	41人
	○障がいのある児童の訪問 (再掲1-(1)-①)	こども福祉 子育て支援		49件(のべ63回)	31件(のべ43回)
	○児童デイサービス事業	こども福祉 子育て支援		年間122人が利用した(実人数)	年間89人が利用した(実人数)
	○サマースクール事業への支援	障害福祉		学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し支援等を行った。(H24.7.21～H24.9.1のうち10日実施。)	学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し支援等を行った。(H23.7.23～H23.8.27のうち10日実施。)
	○就学指導委員会活動の充実	学校教育		保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額198千円	保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額198千円
	○特別支援教育の推進	学校教育		京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金額34千円	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金額34千円
学校施設のバリアフリー化	○学校施設のバリアフリー化 (小・中学校への障がいのある児童の受け入れに当たり、施設のバリアフリー化を図る)	学校環境整備	H22～26	田辺中学校管理棟新築工事において、福祉のまちづくり条例に基づくバリアフリー化を行った。	耐震補強工事に併せて、福祉のまちづくり条例に基づき松井ヶ丘小学校屋内体育館のバリアフリー化を行った。
留守家庭児童会の充実	○留守家庭児童会での障がいのある児童の受入れ	社会教育・スポーツ推進	H22～26	8児童会・16学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人数493人。障がいのある児童を含め希望者全員受入。	8児童会・16学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人数524人。障がいのある児童を含め希望者全員受入。



# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	③	ひとり親家庭への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (再掲2-(1)-(2))	社会福祉	H22～26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
母子家庭医療費助成事業	○母子家庭医療費助成事業 (再掲1-(1)-(5))	国保医療	H22～26	平成24年度給付実績 12,839件 35,551千円	平成23年度給付実績 12,622件 35,045千円
ひとり親家庭の日常生活支援	○母子自立支援員等によるひとり親家庭への相談支援	子ども福祉 子育て支援	H22～26	自立支援員未設置	自立支援員未設置
	○母子家庭日常生活支援事業(府制度)	子ども福祉 子育て支援		府制度周知	府制度周知
	○母子世帯府営住宅優先入居(府制度)	子ども福祉 子育て支援		1世帯入居	1世帯入居
各種手当の支給による支援(☆)	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(1)-(7))	子ども福祉 子育て支援	H22～26	支給実人員:414名(内 父子28名) 総支給額:194,871,430円	支給実人員:415名(内 父子26名) 総支給額:193,239,120円
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(1)-(7))	子ども福祉 子育て支援		支給実人員486名 総支給額13,129,800円	支給実人員415名 総支給額13,497,800円
	○母子家庭奨学金 (再掲2-(1)-(7))	子ども福祉 子育て支援		申請者489名	申請者483名
	○交通遺児奨学金 (再掲2-(1)-(7))	子ども福祉 子育て支援		申請者3名	申請者4名(児童数5名)
ひとり親家庭の交流促進	○ひとり親家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	子ども福祉 子育て支援	H22～26	新入学児童を祝い励ます会に参加者13世帯。 ひとり親家庭新入学児童38名にランリュックを贈呈	新入学児童を祝い励ます会に参加者5世帯。 ひとり親家庭新入学児童28名にランリュックを贈呈
	○京田辺母子会活動の支援 ・母子家庭交流事業支援等	子ども福祉 子育て支援		会員数 約90人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った。	会員数93人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った
職業技能訓練給付事業	○高等技能訓練促進給付事業	子ども福祉 子育て支援	H22～26	受給者7名	受給者7名
	○自立支援教育訓練給付事業	子ども福祉 子育て支援		受給者1名	受給者1名
ファミリー・サポート・センター事業	○ファミリー・サポート・センターにおける優先利用	子ども福祉 子育て支援	H22～26	ひとり親家庭の優先利用は未実施であるが、希望利用者は全員利用できている。	ひとり親家庭の優先利用は未実施であるが、希望利用者は全員利用できている。

☆  
19

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

女性相談・男性相談	○女性の相談室 (再掲1-(3)-③、2-(3)-②)	市民参画	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門相談 毎月第1・3木曜日22回55件相談</li> <li>・出張相談 年8回、15件相談</li> <li>・一般相談 毎週月～金曜日 87件相談</li> <li>・法律相談 毎月第4水曜日12回 23件相談</li> <li>・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回(8件相談)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門相談 毎月第1・3木曜日22回50件相談</li> <li>・出張相談 年8回、12件相談</li> <li>・一般相談 毎週月～金曜日 125件相談</li> <li>・法律相談 毎月第4水曜日12回 25件相談</li> <li>・再就職・チャレンジ相談 1回 (2件相談)</li> </ul>
	○男性相談 (再掲1-(3)-③、2-(3)-②)	市民参画		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性のための電話相談(6/21、10/19、2/22の3回、午後7時～9時)</li> <li>相談件数 3件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性のための電話相談(6/28、10/25、2/28の3回、午後7時～9時)</li> <li>相談件数 2件</li> </ul>

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	④	外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
世界に開かれたまちづくりの推進	○サポート体制の充実 (市内在住外国人等への情報提供等)	市民参画	H22～26	・京田辺市生活ガイドブック(英語版)を改訂、京田辺市生活ガイドブック(韓国語版・中国語版)を作成し、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載	・京田辺市生活ガイドブックについて、市内留学生から意見を募集し、修正 市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載
	○外国語母子健康手帳の交付 (再掲1-(2)-②)	こども福祉 子育て支援		発行:英語7冊 スペイン語1冊 中国語1冊	発行:英語2冊 スペイン語 1冊

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-3-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	1	虐待防止のネットワークの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
要保護児童対策地域協議会の機能強化	○代表者会議の充実	こども福祉 子育て支援	H22～26	年間2回開催	年間2回開催
	○実務者会議の充実	こども福祉 子育て支援		実務者会議 5回	実務者会議 5回
	○個別ケース検討会議の充実 (情報交換、支援内容の協議等)	こども福祉 子育て支援		個別ケース検討会議 のべ37回 保育所(園)・小学校・中学校等訪問による個別ケース検討会議 のべ34回	個別ケース検討会議 のべ56回 保育所(園)・小学校・中学校等訪問による個別ケース検討会議 の べ43回
虐待通告の対応体制の強化	○市民よりの通告の対応体制の強化	こども福祉 子育て支援	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・アルプラザ・産業祭・歯のひろば・市民講演会・民生児童委員活動にて配布 3,865枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面)13,000枚 子どもSOSカード 小学校入り口に設置 180枚、小学3年生に配布 691枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭にて配布 4000枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 子どもSOSカード 小学3年生に配布 709枚、随時 相談啓発カード配布 随時
	○関係機関よりの通告の対応体制の強化	こども福祉 子育て支援		家庭児童相談室専用メールの準備	家庭児童相談室専用電話の設置
他機関との連携による見守り体制強化	○他機関との連携による見守り体制の強化	こども福祉 子育て支援	H22～26	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議年5回)、ケース会議も随時開催する。 保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施の拡大(要保護児童だけでなく、要支援児童も実施)。	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議年5回)、ケース会議も随時開催する。 保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施。
	○児童相談所への援助依頼・送致	こども福祉 子育て支援		児相関与ケース37人(23世帯) 援助依頼 7人(5世帯) 送致 0人 一時保護 7人(4世帯) 施設入所 0人(0世帯)	児相関与ケース33人(25世帯) 援助依頼 8人(5世帯) 送致 0人 一時保護 1人(1世帯) 施設入所 1人(1世帯)
	○警察との連携による緊急対応	こども福祉 子育て支援		警察からのケース連絡 0件	警察からのケース連絡 3件 (内訳DV3件)

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-3-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	②	相談事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
各種健診における相談	○3か月児健康診査 (再掲1-(1)-①)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	年24回 対象児:591人 受診者:583人 受診率:98.6%	年24回 対象児:584人 受診者:576人 受診率:98.6%
	○1歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)-①)	子ども福祉 子育て支援		年12回 対象児:679人 受診者:632人 受診率:93.1%	年12回 対象児:589人 受診者:557人 受診率:94.6%
	○3歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)-①)	子ども福祉 子育て支援		年12回 対象児:692人 受診者:614人 受診率:88.7%	年12回 対象児:687人 受診者:618人 受診率:90.0%
各種発達相談における相談	○10か月児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	年12回 対象児:634人 受診者:582人 受診率:91.8%	年12回 対象児:619人 受診者:552人 受診率:89.2%
	○2歳児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子ども福祉 子育て支援		年12回 対象児:647人 受診者:564人 受診率:87.2%	年12回 対象児:609人 受診者:521人 受診率:85.6%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子ども福祉 子育て支援		年12回 乳幼児 1,201人 妊婦0人	年12回 乳幼児 879人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②、2-(2)-②)	子ども福祉 子育て支援		実127人(のべ148人)幼稚園3園 保育所1園 療育教室1回 巡回発達相談の実施 年14回 年中児発達サポート事業 公立3保育所 104人実施	実104人(のべ129人)幼稚園・私立保育園3回 巡回発達相談 年中児発達サポート事業 公立3保育所84人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(1)-②)	子ども福祉 子育て支援		転入者359人中 281人回収(78.3%)	転入者341人中 299人回収(87.7%)
家庭児童相談室での相談	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 100件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 81件 保健・障がい・非行・育成等相談 16件 来庁面接相談回数:157回(延べ223人) 家庭訪問回数:100回(延べ135人) 電話相談回数:89回(延べ159人) メール相談回数:0件	ケース対応件数 養護相談:児童虐待相談 108件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 55件 保健・障がい・非行・育成等相談 27件 来庁面接相談回数:78回(37世帯) 家庭訪問回数:94回(27世帯) 電話相談回数:7回(7世帯) メール相談回数:1回(1世帯)
地域子育て支援センター等での相談	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	支援センターでの子育て相談 電話49 来所2 事業実施時111	支援センターでの子育て相談 電話62 来所3 事業実施時224
保育所における相談事業	○保育所における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	子ども福祉 子育て支援	H22～26	年間842人から相談を受けた	年間1,101人から相談を受けた

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

児童館における相談事業	○児童館における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	こども福祉 子育て支援	H22～26	保護者からの相談件数 250件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	保護者からの相談件数 164件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
幼稚園での相談事業	○幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
☆ 18 学校における相談(☆)	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(1)-③)	学校教育	H22～26	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数381件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ69件、相談人数 延べ519人	○教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆) (再掲2-(1)-③)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数381件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ69件、相談人数 延べ519人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-③、2-(1)-⑥)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数202日、通室延人数444人	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数201日、通室延人数485人
民生児童委員・主任児童委員による相談	○民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②)	社会福祉	H22～26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
女性相談・男性相談	○女性の相談室 (再掲1-(3)-③、2-(2)-③)	市民参画	H22～26	・専門相談 毎月第1・3木曜日22回55件相談 ・出張相談 年8回、15件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 87件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 23件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回(8件相談)	・専門相談 毎月第1・3木曜日22回50件相談 ・出張相談 年8回、12件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 125件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 25件相談 ・再就職・チャレンジ相談 1回 2件相談
	○男性相談 (再掲1-(3)-③、2-(2)-③)	市民参画		・男性のための電話相談(6/21、10/19、2/22の3回、午後7時～9時) 相談件数 3件	・男性のための電話相談(6/28、10/25、2/28の3回、午後7時～9時) 相談件数 2件

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-3-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	③	訪問事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
保健師等による訪問	○こんには赤ちゃん事業(再掲1-(1)-①)	子ども福祉子育て支援	H22~26	対象児:590人 受診者:528人(里帰り含む) 受診率:89.5%	対象児:580人 受診者:538人(里帰り含む) 受診率:92.8%
	○養育支援訪問事業(再掲1-(1)-①)	子ども福祉子育て支援		86件(実訪問件数)	63件(全数訪問)
	○幼稚園、保育所への訪問	子ども福祉子育て支援		年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立 保育所にて実施 104 人 巡回支援6回 集団観察 3回 幼稚園については、健診後経観察のために、公立園・私立保育園3回、市外幼稚園にも必要時訪問している。	年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立 保育所にて実施 84 人 巡回支援6回 集団観察 3回 幼稚園については、健診後経観察のために、公立園・私立保育園3回、市外幼稚園にも必要時訪問している。
家庭相談員による訪問	○妊婦への訪問	子ども福祉子育て支援	H22~26	12人9世帯	1人1世帯
	○要保護児童家庭への訪問	子ども福祉子育て支援		家庭訪問回数:100回(延べ135人)	94回・27世帯
	○施設退所後のフォロー訪問	子ども福祉子育て支援		1件	0件
☆ 20 ヘルパーによる訪問(☆)	○ヘルパーによる訪問(☆) ・家事援助訪問 ・育児援助訪問	子ども福祉子育て支援	H22~26	産後ヘルパー派遣 8人 (のべ124人)	産後ヘルパー派遣 7人 (のべ17人)

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-3-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	④	意識啓発の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
★ 5 市民に対する 広報・啓発(☆)	○ホームページの充実 (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	こども福祉 子育て支援	H22~26	子どもの権利条約について掲載	「STOP!子ども虐待」リーフレットを掲載。児童虐待防止月間の取り組みを掲載
	○パンフレットの配布(☆) (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	こども福祉 子育て支援		「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・アルブラザ・産業祭・歯のひろば・市民講演会・民生児童委員活動にて配布 3,865枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面)13,000枚 こどもSOSカード 小学校入り口に設置 180枚、小学3年生に配布 691枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなベシシリーズ連載(8・10・11・12月号)	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭にて配布 2900枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 こどもSOSカード 小学3年生に配布 709枚、随時 相談啓発カード配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなベシシリーズ連載(10・11・12月号)
子育て関係者等に対する啓発	○子育て関係者に対するパンフレット等の配布 (再掲1-(2)-①、1-(2)-②)	こども福祉 子育て支援	H22~26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・アルブラザ・産業祭・歯のひろば・市民講演会・民生児童委員活動にて配布 3,865枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面)13,000枚 こどもSOSカード 小学校入り口に設置 180枚、小学3年生に配布 691枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭にて配布 4000枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 こどもSOSカード 随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時



# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(2-3-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	⑤	虐待防止のための体制整備

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
研修の充実	○研修の充実 ・講演会の開催 ・専門的研修の実施	こども福祉 子育て支援	H22～26	こども虐待防止市民講演会11月29日 165名参加 ペアレンティングトレーニング3回シリーズ実施 延べ54名 留守家庭児童会民生児童委員等を対象に研修会を実施 1回 59名	こども虐待防止市民講演会11月25日 132名参加 保育所、幼稚園、小学校、中学校、留守家庭児童会、ファミリーサポートセンター、民生児童委員等を対象に研修会を実施 8回 661名
★3 子育て短期支援事業(★)	○ショートステイ事業(★) (再掲1-(3)-①)	こども福祉 子育て支援	H22～26	平成25年4月からの実施に向けて、要綱の制定、委託先(2か所)との調整を行った。	未実施
集団生活における支援	○集団生活における支援 ・学校との連携及び支援 ・幼稚園との連携及び支援 ・保育所との連携及び支援	こども福祉 子育て支援	H22～26	保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施(34回) 保育所(園)・小学校・中学校等訪問による個別ケース検討会議のべ71回	保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施 保育所(園)・小学校・中学校等訪問による個別ケース検討会議のべ43回

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-1-1)

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) \* 計画にない新規H22(2)・H23(2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	①	地域の教育力・社会力の向上

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
生涯学習人材バンク	○生涯学習事業保育ボランティア事業 (市民の生涯学習事業支援のための人材派遣・斡旋)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	保育ボランティア登録者数19人 10月29日草内小ミニライブ3名	保育ボランティア登録者数15人 11月7日クッキング講習会2名、11月26日講演会2名、1月26日「親のための応援塾」2名派遣
子育てセミナーの開催	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、2-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月14日参加者26人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者545人	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座) 9月9日 参加者66人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者544人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-⑤、3-(1)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約8800人	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 8,563人
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進 (再掲2-(1)-⑥)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	新規2地域開設。42区・自治会のうち15箇所継続実施。	新規2地域開設。42区・自治会のうち13箇所継続実施。

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-1-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	②	地域における世代間交流等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
高齢者等との交流の推進	○大住ふれあいセンターでの交流事業の推進	こども福祉 子育て支援	H22～26	①高齢者と小学生のグラウンドゴルフ交流会(年2回:5月・10月) ※高齢者が子どもたちに技を伝授 ②高齢者と子どもたちとのもちつき交流会(年1回:1月) ※高齢者のリードのもと ③おたのしみ寿司を作ってみよう(年1回:5月) ※高齢者が子どもたちに調理を指導 ④マジック観賞(年1回・8月) ※高齢者と乳幼児の親子・小学生と一緒に鑑賞	①高齢者と小学生のグラウンドゴルフ交流会(年2回:5月・10月) ※高齢者が子どもたちに技を伝授 ②高齢者と子どもたちとのもちつき交流会(年1回:1月) ※高齢者のリードのもと ③人形劇鑑賞会(年1回:1月) ④アカペラ演奏会(年1回・2月) ※高齢者と乳幼児の親子・小学生と一緒に鑑賞
	○保育所地域活動事業 ・世代間交流事業 (保育所児童の老人福祉施設等への訪問活動等) (再掲3-(1)-⑤)	こども福祉 子育て支援		公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-⑤、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約8800人	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 8,563人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-1-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	③	地域における子育て支援団体等の活動の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
民生児童委員・主任児童委員による子育て支援事業への支援	○子育てサロン (再掲3-(1)-④)	社会福祉	H22～26	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。
子ども会育成事業の推進	○子ども会育成事業 ・地域子ども会の育成と支援	社会教育・スポーツ推進	H22～26	子ども体験教室(中央公民館事業) 7月28日 午前・午後延べ44人参加	子ども体験教室(中央公民館事業) 7月23日 午前・午後延べ45人参加
★5 子どもの遊び場情報誌の作成(★)	○子どもの遊び場情報誌の作成(★) (再掲3-(1)-⑥)	こども福祉 子育て支援	H22～26	あそびばマップは同志社大学のルームプロジェクトにおいて、学生による企画運営で進め、マップのデータが完成。	子育てあそびばマップは同志社大学のルームプロジェクトに応募し、プロジェクトでの作成運営が決定する。
市民活動の支援	○市民団体の活動助成	市民参画	H22～26	・市民活動推進補助金の交付 7件	・市民活動推進補助金の交付 3件
	○(仮称)市民活動講座	市民参画	H22～24	・市民活動講座の開催 5回シリーズ、受講生10人 ・市民活動パワーアップセミナーを3回開催、受講生延べ20人	・市民活動講座の開催 5回シリーズ、受講生9人 ・市民活動パワーアップセミナーを3回開催、受講生延べ28人

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-1-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	④	仲間づくり、子育て支援のネットワークづくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
仲間づくりの支援	○親子なかよし学級(幼稚園)	学校教育	H22～26	次年度3歳児となる幼児と保護者を対象に、市立幼稚園8園で実施し、参加実績220組。	次年度3歳児となる幼児と保護者を対象に、市立幼稚園8園で実施し、参加実績305組。
	○子育てサロン(再掲3-(1)-③)	社会福祉		親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。
	○ふれあい広場(児童館)	子ども福祉 子育て支援		延べ利用者数(保護者含む) 田辺児童館 100人 普賢寺児童館 482人 大住児童館 11,586人 合計 12,168人	延べ利用者数(保護者含む) 田辺児童館 168人 普賢寺児童館 669人 大住児童館 12,024人 合計 12,861人
	○親子教室(児童館)	子ども福祉 子育て支援		延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 5,575人 大住児童館 3,344人 南山子どもセンター 495人 合計 9,414人	延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 6,311人 大住児童館 3,092人 合計 9,403人
	○園庭開放(保育所)	子ども福祉 子育て支援		4つの保育所が、年間96回園庭を開放し、延べ1,925人が利用した	4つの保育所が、年間96回園庭を開放し、延べ2,308人が利用した
	○地域子育て支援センター事業	子ども福祉 子育て支援		河原・大住子育て支援センターにおいて園庭開放3,140人 親子あそび1,708人 すくすくサロン314人 サークル活動のサポート出前保育631名	河原・大住子育て支援センターにおいて園庭開放2863人 親子あそび824人 すくすくサロン294人 サークル活動のサポート出前保育895名
育児サークルの支援	○子育てサークルの支援 ・サークルリーダー交流会	子ども福祉 子育て支援	H22～26	ぞうさんのしっぽ 3回/年 合計 56名 あっぷっぷ・あおいくま合同 1回/年 50名 子育てママ応援隊「はいはい」 1回/年 21名 スイミー 1回/年 22名 ぼよぼよザウルス 1回/年 15名  5月29日サークルリーダー交流会(事業紹介・交流) 合計33名 11月22日サークル交流会(遊びの紹介・交流) 合計28名	ぞうさんのしっぽ 2回/年 合計 48名 10月18日中央体育館でサークル運動会の支援(はいはい主催) 合計98名 5月31日サークル交流会(事業紹介・交流) 合計34名 11月10日サークル交流会(救命・体操・交流) 合計49名
	○保健師等の派遣	子ども福祉 子育て支援		サークルへ派遣 1回	サークルへ派遣 2回
	○えぶろんママの派遣	子ども福祉 子育て支援		サークルへ派遣 7回	サークルへ派遣 26回
	○活動場所の提供等 (児童館、地域子育て支援センター等)	子ども福祉 子育て支援		社会福祉センター 25回 三山木福祉会館会議室 1回	大住児童館 中部住民センター 北部住民センター 2回

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-1-5)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	⑤	学校等における地域との交流の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
地域に開かれた保育事業の推進	○保育所地域活動事業 ・保育所体験事業(園庭開放) ・育児講座 ・世代間交流事業 (再掲3-(1)-②)	こども福祉 子育て支援	H22~26	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・社会人講師の活用 ・ボランティア受入れの促進 (再掲2-(1)-①、3-(1)-⑥)	学校教育	H22~26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校593千円、中学校308千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者33人	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校563千円、中学校427千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者36人

## ◎ 展開する事業群(3-1-6)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	⑥	大学との連携の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり (再掲2-(1)-①)、3-(1)-⑤)	学校教育	H22~26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校593千円、中学校308千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者33人	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校563千円、中学校427千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者36人
★5 子どもの遊び場情報誌の作成(★)	○子どもの遊び場情報誌の作成(★) (再掲3-(1)-③)	こども福祉 子育て支援	H22~26	あそびばマップは同志社大学のルームプロジェクトにおいて、学生による企画運営が進め、マップのデータが完成。	子育てあそびばマップは同志社大学のルームプロジェクトに応募し、プロジェクトでの作成運営が決定する。

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	(2)子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	①	豊かな自然環境の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
☆21 京田辺市都市計画マスタープランの改訂及び実施(☆)	○周辺環境・自然環境に配慮した土地利用の推進	都市計画 計画交通	H21~22	平成22年度改訂完了	なし(平成22年度改訂完了)
自然体験活動等の促進	○自然体験活動 (薪甘南備山生活環境保全林の活用など)	農政	H22~26	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。 11月に京セラが薪甘南備山保存会と協働で行うモデルフォレスト運動(治山活動)を支援した。	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。
	○野外活動のつどい (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		野外活動の集い 553人	野外活動の集い 553人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		野外活動に親しむ日 311人	野外活動に親しむ日 245人
	○土曜わくわく体験教室 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		わくわく体験クラブ 延べ1,896人	わくわく体験クラブ 延べ1,643人
	○夕涼みのつどい (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		夕涼みのつどい 91人	夕涼みのつどい 104人
	○学校田、学級園等での野外活動体験活動	学校教育		各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。	各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。
☆22 京田辺市環境基本計画に基づく総合的な環境施策の推進(☆)	○きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援(☆)	環境	H22~26	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)
	○美化意識向上のための啓発 (市民一斉清掃の推進・美化啓発看板の設置、空き地除草の指導等)	環境		・市民一斉清掃を2回実施(延べ62団体)、参加者 18,760人 ・市内148か所の空き地の除草指導を実施	・市民一斉清掃を2回実施(延べ62団体)、参加者 19,092人 ・市内148か所の空き地の除草指導を実施
	○市民環境セミナー	環境		1回開催(エコ講演会「よく分かる自然エネルギーのはなし」:5月20日)	1回開催(冬の節電・省エネ講座:12月11日、参加者 21人)
	○地球温暖化防止活動の促進	環境		KES環境マネジメントシステム・ステップ2の認証(33公共施設)を得た	KES環境マネジメントシステム・ステップ2の認証(33公共施設)を得た
水と緑のネットワークの推進	○広幅員道路や河川を利用した線的緑化と自歩道のネットワーク化	施設整備	H22~26	河川管理用通路等を有効活用した散策路のネットワーク化や整備方針等の検討業務を実施した	該当なし
☆23 緑化の推進(☆)	○緑の基本計画策定の見直し(☆)	施設管理	H22~26	緑の基本計画策定の見直しについては現計画において事業展開ができていないことから実施は行わず、緑の基本計画に基づき、緑化推進事業を踏襲していく。	未実施
	○誕生記念樹配布	施設管理		H24.11.3(1回目)116名 H25.3.20(2回目)107名	H23.11.3(1回目)84名・H24.3.21(2回目)138名
	○市民記念植樹祭	施設管理		H24.4.22 12組	H23.4.3 12組

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

循環型社会の構築 (☆)	○ごみの分別収集の徹底 (ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	清掃衛生	H22～26	平成24年度中に、広報紙に2回記事を掲載し、2度ごみカレンダー等の全戸配布を行った。 また、市内のごみ質調査・アンケートを行い、この結果を公表し、好評を得た。	広報紙3回 チラシ3回
	○家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助 (家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	清掃衛生		補助件数19件	補助件数14件
	○再生資源集団回収事業補助 (家庭から排出されるごみの内、再生できるごみをリサイクルしてもらうことにより、ごみの減量化を図る。リサイクル量に応じて補助金交付)	清掃衛生		補助団体80団体 新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類、ビン、金属の累計2,313t。	補助団体78団体 2,368t
☆24 循環型社会の構築 (☆)	○教室・講座 (ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	清掃衛生	H22～26	エコパークかんなびと協働で、もの作り教室を21回開催した。 また、市でも市内小学校の施設見学を受け入れ、児童向けに出前講座を行うとともに、市民向けにもMOTTAINAIでごみ減量！というテーマで各地公民館等に出前講座を実施した。	もの作り教室14回開催
	○市民団体「京田辺エコパークかんなび」の支援(☆) 京田辺エコパークかんなびを支援することにより、「3R」推進に取り組む。 ① リデュース(Reduce)ごみ減量 ② リユース(Reuse)不要品の再利用 ③ リサイクル(Recycle)ごみ再利用	清掃衛生		京田辺エコパークかんなびの活動(3R推進活動に関する各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア、勉強会、見学会など)の支援を行った。 新田辺東商店街の空き店舗を利用したエコパークかんなびキララ店と協働して、キララフェスティバルなどにも参加し、ぬいぐるみや食器などのリユース普及活動も行った。	京田辺エコパークかんなびの活動(3R推進活動に関する各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア、勉強会、見学会など)支援
京田辺市の文化を次世代に受け継ぐ事業の推進	○文化財の保護及び市民への情報提供等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	市指定文化財に仏像2件を指定し、広報京たなべ、学びの情報誌、市ホームページを活用し情報提供をおこなった。	市指定文化財に仏像2件を指定し、広報京たなべ、学びの情報誌、市ホームページを活用し情報提供をおこなった。



# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-2-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	②	子どもの遊び場・交流の場の充実

☆25

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
身近な遊び場の整備	○ストリートバスケット設置等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	平成24年度は、地元区・自治会の設置要望がなかったため、未設置	平成23年度は、地元区・自治会の設置要望がなかったため、未設置
体育館・運動施設の開放	○スポーツに親しむ日	社会教育・スポーツ推進	H22～26	スポーツに親しむ日 11回27.5時間 延べ785人	スポーツに親しむ日 11回27.5時間 延べ785人
公園の新設、整備等(☆)	○近隣公園の整備	施設整備	H22～26	防賀川公園(東側)の整備 ・用地国債の償還 A=924㎡ ・伐竹工 A=5,100㎡	防賀川公園(東側)の整備 ・用地国債の償還 A=924㎡ ・植樹工 N=15本
	○街区公園の整備	施設整備		三山木地区特定土地区画整理4号公園の整備 … H25へ繰越	実績なし
	○公園里親制度(アダプト制度)の普及(☆)	施設管理		里親制度モデル事業 花の一休寺道緑化推進事業(H24.6.28実施) すてきなまちなみ支援制度実施要綱制定	里親制度モデル事業 田辺東幼稚園緑地緑化事業(H23.5.25/H23.12.8) 花の一休寺道緑化推進事業(H23.7.14)
	○公園遊具の安全点検の推進	施設管理		該当なし	平成23年度京田辺市都市公園維持管理業務上の日常(毎月:H23.4～H24.3)点検の実施 平成23年度公園遊具等安全(定期)点検業務委託(157公園/1213遊具等施設)
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進)(再掲3-(2)-③、3-(2)-④)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、155戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.7 % ・仮換地指定率 96.7 % ・使用収益開始率 79.7 %	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.0 % ・仮換地指定率 96.6 % ・使用収益開始率 77.7 %

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-2-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	③	安心・安全の生活環境の確保

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
京田辺市都市計画マスタープラン改訂及び実施	○安全な道路空間創出のための歩道・緑道整備	都市計画 計画交通	H21～22	平成22年度改訂完了	なし(※平成22年度改訂完了)
	○交通事故防止のための交通安全施設の整備	都市計画 計画交通		平成22年度改訂完了	なし(※平成22年度改訂完了)
* ☆26 施設の安全対策(☆)	○耐震診断士派遣事業	開発指導	H22～26	35件派遣	60件派遣
	○市営住宅の耐震補強工事	開発指導		市営住宅谷ノ上団地耐震補強工事設計	耐震計画策定
	○民間木造住宅の耐震改修工事等の補助 *H23追加	開発指導		23年度繰越5戸 24年度33戸+簡易改修2戸	22年度繰越6戸 23年度13戸
	○保育所、幼稚園、小・中学校等各施設の耐震補強工事(☆)	子ども福祉 子育て支援  教育総務 学校環境整備		○保育所 必要な耐震補強工事は21年度で終了 ○小学校 草内小学校北校舎棟・南校舎棟東側、桃園小学校屋内体育館、普賢寺小学校屋内体育館について、耐震補強工事を実施した。 ○中学校 培良中学校屋内体育館について、耐震補強工事を実施した。田辺中学校管理棟の新築工事を実施した。	○保育所 必要な耐震補強工事は21年度で終了 ○小学校 田辺小学校給食室棟・中校舎棟、松井ヶ丘小学校屋内体育館、大住小学校渡り廊下について耐震補強工事を実施した。 ○中学校 田辺中学校クラブボックス棟について改築工事を実施した。
* 登下校時の安全対策	○登下校時の安全対策 ・緊急用の笛の配布 *H23新規 自転車通学用ヘルメットの貸与	学校環境整備	H22～26	小学校新1年生児童及び転入生を対象にホイッスルを配布(計800個)  自転車通学をしている中学生にヘルメットを貸与し、登下校時の安全確保に努めた。 ヘルメット137個(Mサイズ47個 Lサイズ90個)を購入し、対象生徒に貸与した。	小学校新1年生児童及び転入生を対象にホイッスルを配布(計700個)  自転車通学をしている中学生にヘルメットを貸与し、登下校時の安全確保に努めた。 ヘルメット115個(Mサイズ75個 Lサイズ40個)を購入し、対象生徒に貸与した。 新1年生及び転入生に貸与していく。
地域の防犯パトロール支援	○京田辺市青少年問題連絡協議会防犯パトロール支援	社会教育・スポーツ推進	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会7月7日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布	京田辺市青少年問題連絡協議会7月9日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進) (再掲3-(2)-②、3-(2)-④)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、155戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.7 % ・仮換地指定率 96.7 % ・使用収益開始率 79.7 %	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.0 % ・仮換地指定率 96.6 % ・使用収益開始率 77.7 %
あんしん歩行エリア整備事業計画	○交通事故多発エリア(田辺地区)における事故抑制の実施計画の進捗確認	都市計画 計画交通	H22～26	(田辺地区)地区調整会議の実施(1回)	○(田辺地区)現地検討会の実施(1回)

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

道路整備	○幹線道路の整備  ○準幹線道路の整備	施設整備  施設整備	H22～26	該当なし  歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行う。 ・里ノ内小山線工事…L=140m ・河原浜新田線工事…L=310m ・草内薪線舗装工事…A=1,200㎡ ・東興戸線用地買収…A=47㎡	該当なし  歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行う。 ・里ノ内小山線拡幅…L=140m ・南田辺三山木駅前線…H24へ繰越 ・新田辺草内線詳細設計…L=330m ・河原浜新田線…H24へ繰越 ・東興戸線…未実施(防火水槽設置箇所の交渉難航のため)
子ども緊急避難場所等の指定	○子ども緊急避難場所等の指定(商店等を活用した子ども緊急避難場所等の指定)	安心まちづくり室	H22～26	「こども110番の家への登録を行った	綴喜安全・安心まちづくり大会での子ども110番のいえ飛び込み実演を実施した。
地域での防犯対策の充実	○防犯灯の設置等	安心まちづくり室	H22～26	15基の街路灯を設置	24基の防犯灯を設置した。
	○地域防犯体制の育成(地域の防犯活動の芽を育成し、交流とネット)	安心まちづくり室		引き続き検討を行った	安心・安全行政連絡会議や警察協議会の場で検討した。
交通安全対策の充実	○交通安全施設の設置及び管理	安心まちづくり室 計画交通	H22～26	21ヶ所に道路反射鏡を設置した。次年度は計画交通課にて回答(所管が平成25年度より移管のため)	23ヶ所に道路反射鏡を設置した。
	○交通安全意識の啓発	安心まちづくり室 計画交通		京都府田辺警察署と合同で約40回啓発を実施した。次年度は計画交通課にて回答(所管が平成25年度より移管のため)	京都府田辺警察署と合同で40回啓発を実施した。
放置自転車対策の充実	○自転車マナーの向上の啓発	安心まちづくり室 計画交通	H22～26	京都府田辺警察署と合同で4回啓発を実施した。子ども自転車大会を実施した。次年度は計画交通課にて回答(所管が平成25年度より移管のため)	京都府田辺警察署と合同で4回啓発を実施した。子ども自転車大会を実施した。
防災対策の推進	○災害時の要援護者対策の推進(市防災計画において、災害の影響を受けやす	安心まちづくり室	H22～26	引き続き検討を行った。	引き続き検討を行った。
	○自主防災組織の育成	消防本部	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火訓練 13件 935人</li> <li>・ 防火講話 8件 299人</li> <li>・ 地震体験 6件 493人</li> <li>・ 避難訓練 5件 513人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火訓練 18件 1,067人</li> <li>・ 防火講話 11件 482人</li> <li>・ 地震体験 2件 122人</li> <li>・ 避難訓練 7件 534人</li> </ul>
	○消防団員育成・強化事業	消防本部		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種訓練 267回 2,638人</li> <li>・ 消防学校入校 2回 7人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種訓練 88回 3,327人</li> <li>・ 消防学校入校 2回 6人</li> </ul>
☆1 安心・安全教育の推進(☆)	○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆)(再掲1-(1)-①、1-(2)-②)	こども福祉子育て支援	H22～26	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。582人 1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布。632人	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。619人 1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布。589人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」49名参加
有害環境対策の推進	○地域環境浄化活動の推進 ・京都府社会環境浄化推進員 ・綴喜地区環境浄化連絡協議会	こども福祉子育て支援	H22～26	年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り	・年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り ・年4回の綴喜地区環境浄化連絡協議会理事・幹事会を開催、2月に研修会開催

# 京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成24年度)

## ◎ 展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	④	子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	24年度実績	23年度実績
京田辺市バリアフリー基本構想策定及び実施	○バリアフリー基本構想の策定 ○鉄道駅、道路、公園、駐車場等、公共施設のバリアフリー化 (既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	都市計画 計画交通	H21～22	平成23年度策定完了	○バリアフリー基本構想(田辺地区)の策定完了(22年度繰越事業) ・策定協議会の開催(1回) ・庁内担当者説明会の開催(1回)
		安心まち づくり室 計画交通	H22～26	JRに対し、片町線複線化促進期成同盟会を通じて、大住駅にエレベーター設置を要望した。次年度は計画交通課にて回答(所管が平成25年度より移管のため)	JRに対し、片町線複線化促進期成同盟会を通じて、大住駅にエレベーター設置を要望した。
福祉のまちづくりの推進	○道路整備 (市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	施設整備	H22～26	歩行者等に配慮した道路整備事業を行う。 ・山手幹線自転車道整備 L=63m ・通学路カラー塗装 A=2,252㎡ ・信楽街道踏切改良 1式	歩行者等に配慮した道路整備事業を行う。 ・山手幹線自転車道整備 L=400m ・通学路カラー塗装 A=560㎡ ・大住ヶ丘地内歩道切下げ N=12ヶ所 ・信楽街道踏切改良 未実施(JRの工事発注が遅れたため)
		施設管理		該当なし	転落防止柵の設置 6.0m(松井相合)
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地 区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進) (再掲3-(2)-②、3-(2)-③)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、155戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.7 % ・仮換地指定率 96.7 % ・使用収益開始率 79.7 %	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.0 % ・仮換地指定率 96.6 % ・使用収益開始率 77.7 %